

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義	
科 目 名	国際教育学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15	(1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期	後期	教室名	803	
担 当 教 員	小松真奈美						
実務経験と その関連資格	看護師として、大学病院で3年間勤務。その後、英会話学校、医学、看護系大学及び専門学校で、医学、看護、福祉英語を担当。大阪府内の病院の国際外来で医療通訳として、外国人医療に携わる。国際臨床医学学会会員。ICM認定医療通訳士(英語)						
《授業科目における学習内容》							
Listening Speaking Vocabulary Reading をバランスよく授業に取り入れます。 医療現場で遭遇する様々な場面を通して、必要な英語の医学用語、フレーズを学習します。 ペアワークなどで英語を聞き、話すということに慣れ、将来的に国際的に活躍できる医療従事者を目指します。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験60%、実技試験20%、小テスト20%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書: Medical English Communication 医療英語コミュニケーション(国際教育社)							
《授業外における学習方法》							
教科書の予復習、高校までの英語を復習しておくこと							
《履修に当たっての留意点》							
小テスト、ペアワーク、グループワーク、授業内でのロールプレイ発表や授業態度などを重視します。苦手意識のある方もいるかもしれませんが、まずは楽しく英語に慣れていくことが必要になります。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容		
第1回	授業を通じての到達目標	聞き取れなかった時の表現が使える。		教科書: 医療英語コミュニケーション	特になし		
	各コマにおける授業予定	聞き取れなかった時の表現・初診時の対応					
第2回	授業を通じての到達目標	症状(痛み)の表現・体の外部の名称が英語で言えるようになる。		教科書: 医療英語コミュニケーション	特になし		
	各コマにおける授業予定	Chapter 3 症状(痛み)					
第3回	授業を通じての到達目標	痛みの表現以外の症状が英語で言えるようになる。		教科書: 医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト		
	各コマにおける授業予定	Chapter 4 症状《その他》					
第4回	授業を通じての到達目標	診察時の表現、ポジショニングが英語で言える。		教科書: 医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト		
	各コマにおける授業予定	Chapter 7 身体計測・診察時の表現					
第5回	授業を通じての到達目標	骨の名前、松葉杖の使い方の表現が英語で出来る。		教科書: 医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト		
	各コマにおける授業予定	Chapter12 骨の名前 /14 リハビリテーション(2)					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	英語ロールプレイ スキット作成が出来る	教科書:医療英語 コミュニケーション	(復習課題)小テスト
	各コマにおける授業予定	ロールプレイ準備 (スキット作成)		
第 7 回	授業を通じての到達目標	医療場面でのロールプレイを英語で出来る	教科書:医療英語 コミュニケーション	ロールプレイ原稿の完成
	各コマにおける授業予定	ロールプレイ(本番)		
第 8 回	授業を通じての到達目標	これまで習った単語・フレーズが英語で表現できる	教科書:医療英語コ ミュニケーション	特になし
	各コマにおける授業予定	これまでの授業の総復習・関節可動域・臓器の名称		
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			